

新市長選出

10月16日(日)の市長選挙において、稲葉正吉氏が第七代市長として当選されました。市民の皆さまを向いた市政運営されることを期待します。

国への要望提出

本年度の蒲郡市長から国へ出された要望は以下のとおりです。

地域企画委員として私が要望をお受けしました。

民主党県連地域企画委員会での議論を経て、蒲郡案件につきましては8月3日に、もれなく国へ提出できました。

、国土交通大臣宛

国道473号バイパスのルート決定事案¹このルートは清田、岡崎を通り第2東名につながることを想定しています。

蒲郡港11m岸壁及び埠頭用地拡充案件²これは大型化する船舶に対応し、岸壁利用企業の利便性を図るものです。

名鉄西尾・蒲郡線存続案件³これは地域公共交通の活性化と高度化事業を図るものです。

蒲郡港整備計画



社会資本整備総合交付金の増額案件⁴遅れているインフラ整備に対し、利用の弾力性が高い交付金の増額を求めるものです。

国道23号バイパスの建設促進案件⁵当初予算で43億円もの金額が付いていますが、順調な工事をお願いするものです。

設楽ダム建設促進事案⁶自水のない蒲郡では、市民の皆さまの生命の源となる水確保は本市の責務であります。

三河港機能強化促進事案⁷津波・高潮対策の強化、自動車港湾に対する支援策の強化を求めるものです。

国道247号中央バイパスの早期完成事案⁸この道路は完成間近となつて建設遅滞が起こっています。建設促進を求めるものです。

火葬場整備事案⁹老朽化と共に将来予測1.5倍の需要増に対応するため、建替え補助を求めるものです。

、厚生労働大臣宛

市民病院安定運営事案¹⁰産科など極端な医師不足をきたしている科の医師養成及び医師の適正配置と制度の確立を求めるものです。

、農林水産大臣宛

土地改良事業整備促進事案¹¹これは大塚町千尾地区圃場整備への国補助を求めるもの、合わせて蒲郡東高校通学路整備を求めるものです。9月30日現在、既に補助は決定されています。

介護保険事業安定的運営事案¹²高齢化率の高い市町村に国の負担率を高める措置を求めるものです。本市ではこの10年で給付率が2.5倍に達しました。

相楽町生活プロジェクト実験集落整備事業の更新事案¹³老朽化した屋外排水(集落排水)処理施設の更新または新規対応を求めるものです。

子ども医療費助成国庫補助制度導入事案¹⁴子ども医療費無料化事業を国が行うことを求めるものです。現在、県が入院を中学3年まで、市が通院を小学6年まで助成しています。

、総務大臣宛

市民病院安定運営事案¹⁵救急医療、小児科医療、高度医療などに対応するため、交付税の確保と充実に求めるものです。

国民健康保険事業の安定運営事案¹⁶国民皆保険制度を堅持するため、構造的課題の解決及び法整備、国費投入の拡充を求めるものです。

競艇事業交付金引下事案¹⁷蒲郡競艇は時限立法で公営競技納付金(平成22年度、7億2千4百万円)を国に納めています。既に5回の延長がなされています。この制度の早期廃止を

求めるものです。



整備の進んだ生命の海科学館周辺

新出発「生命の海科学館」

一時、存続を危ぶまれた生命の海科学館。今年は開館時以上のお客さまに来館していただいております。

平成22年度は前年度の約1.6倍、37,000人以上の方がお見えになりました。

今年も1.4倍の伸びを見せ、このままでいけば5万人以上の来館が見込まれます。

これは、サイエンスショーやワ

ークシヨップなど地元企業の協力を得、インタープリターのわかりやすい説明もあり、科学講座や講演会も一般に受け入れやすいものになっていくからでしょう。

小、中、高、大学との連携を深め、保育園や幼稚園に至っては市外、県外からの来館のほうが多い状況です。

少々マニアックな企画展については、入場者数ばかり気にするのはなく、ファンの希望に応えるべきでしょう。

話題のトピックを捉えるべきで、渥美沖80キロで商業試掘されるメタンハイドレートを取り上げるのも一考かと思えます。

JTBや日本旅行などのパンフレットにも取り上げられており、修学旅行でも来ていただいているところですよ。

併設している情報ネットワークセンターはその役目を終えつつあります。

開館当時、目指していたのはネットワークでつなぐ先進がまごおりでした。日本のどこにもなく、

見たことも聞いたこともないような社会でした。

それが今ではインターネット社会として実現されました。

本来ならば図書館機能を持たせるべきでしょうが、近隣商業施設に図書館機能はお任せし、科学館との連携を持たせることを検討すべき時期が来ていると思います。

当面は館内に少しばかり手を入れ、科学館を充実させましょう。

議会報告

平成23年9月議会

一般質問

1、生命の海科学館の現状

(1) 利用者の動向について

ア、年間利用者数について

イ、利用者層について

(2) 運営について

ア、創造的事業について

イ、ネットワークの構築について

ウ、利用料金について

(3) 将来的な位置づけについて

ア、「観光」という視点で

イ、「教育」という視点で

ウ、「科学」という視点で

2、競艇事業について

(1) 売り上げ状況について

ア、全国の売り上げ状況について

イ、東海4場の売り上げ状況

ウ、本場の売り上げ状況について

(2) 船舶振興会等へ支出する交

納付金について

ア、交納付金の種類について

日本船舶振興会交付金 22

億5千9百万円

モーターボート競走会交付金

8億8千2百万円

公営競技納付金 7億2千4

百万円

イ、交納付金の金額について

平成22年度は総額38億

6千5百万円。

ウ、交納付金の使われ方について

エ、交納付金の減額について

オ、共同交納付金減額要望

(3) 名鉄西尾・蒲郡線支援

ア、以前の運賃補助の状況

イ、今後の運賃補助の可能性

ウ、名鉄支援という視点での運賃

補助について

議案(抜粋)

* 教育委員会委員の任命

新実祥悟のマイ・レボリューション 第 21 号

- * 市道の路線認定・変更
- * 衛生組合の規約変更（斎場建設
に向け）
- * クリーンセンター中央監視盤等
改良
- * 蒲郡競艇施設改善
補正予算（抜粋）
- * まちづくり推進事業：拾石町コ
ミュニティー会館建設
- * 障害者自立支援システム変更
- * 後期高齢者医療事業特別会計繰
出金
- * 新斎場建設負担金
- * 住宅太陽光発電システム追加
- * 緊急雇用創出事業費追加
- * 大塚狐狭2号線（蒲東高通学路）
調査
- * 塩津駅前広場整備事業（継続）
- * 防災行政無線子機増設
- * 教育施設整備基金追加
- * 競艇場旧ウイング改修